

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和 7 年度 事業計画書

（事業計画書様式 1）

1 施設概要

公園名	深谷町ふれあい公園(ハマヤク農園)
所在地	神奈川県横浜市戸塚区深谷町 1272 番 1 ほか
公園面積、公園種別	4,335 m ² (街区公園)
主な施設	分区園(10 m ² 49 区画、15 m ² 34 区画、50 m ² 6 区画)、協働農園、広場、駐輪場、農具保管庫、倉庫付トイレ（多目的・男子・女子各 1 室）足洗場、堆肥置場、案内板、ベンチ、遊具、レイズベッド、水飲み、園内灯、散水栓等
特徴	横浜みどりアップ計画の一環として農園付公園として整備された。ネーミングライツパートナー契約により、愛称：ハマヤク農園が用いられている。（ネーミングライツパートナー：横浜薬科大学）
公園開園日	平成 28 年 4 月 1 日

公園名	和泉アカシア公園分区園
所在地	神奈川県横浜市泉区下和泉一丁目 8
公園面積、公園種別	約 1,264 m ² (指定管理区域のみ) (街区公園)
主な施設	分区園(30 m ² 24 区画)、倉庫(トイレ付)、足洗場、案内板等
特徴	市内で 3 番目にできた分区園である。指定管理区域外は泉土木事務所が管理する。
公園開園日	平成 3 年 3 月 20 日

公園名	泉が丘公園分区園
所在地	神奈川県横浜市泉区泉が丘三丁目 6 番
公園面積、公園種別	771 m ² (指定管理区域のみ) (街区公園)
主な施設	分区園(12 m ² 25 区画、24 m ² 2 区画)、倉庫、足洗場、案内板
特徴	横浜みどりアップ計画の一環として、平成 27 年に公園区域を拡張して分区園が整備された。指定管理区域外は泉土木事務所が管理する。
公園開園日	平成 27 年 4 月 1 日

2 指定管理者概要

指定管理者名	株式会社 春峰園
代表者名	代表取締役 相澤 保
所在地	横浜市金沢区釜利谷東 8-3-20
指定管理期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現指定管理者管理運営開始日	令和 5 年 4 月 1 日

（事業計画書様式2）

1 公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）

当団体の公園運営管理理念

『市民とともに魅力的な緑環境をつくり、育て、住みよいまちづくりを目指す。』

市民の声に耳を傾け、ともに公園運営を行います。

公園を拠点として地域全体に賑わいを作り出す自主事業等の取組を展開します。

ビジョン（中期的な目指す姿）

『農とふれあい、出会う、新たな日常』

分区園での農作業を通して、また、その風景を感じることで、様々な人や体験にふれあうことができます。それは新しい出会いと言えます。そして、それが普段から使う遊び場である公園であり、身近な親しみやすい場所における出会いであることによって、次第にそれは生活の一部になり、新たな日常になっていくと考えます。

2 本年度の基本的な管理運営方針（ミッション）

ビジョンを実現するため、次の5つのミッション（果たすべき主な役割）に取り組めます。

- ①公園利用者と農園利用者がふれあえる
- ②農園利用者同士がふれあえる
- ③世代の違う利用者がふれあえる
- ④日常の遊び場と農体験の場が身近に感じられる
- ⑤生産と利用のつながりが感じられる

3 運営業務の実施計画・取組

5つのミッション踏まえ、下記の通り運営業務を実施します。

①公園利用者と農園利用者がふれあえる

- ・協働農園などを活用したイベントを企画し、公園利用者が農にふれあう場をつくる。
- ・農園の栽培人気ランキングの掲示などを通じ、公園利用者が農園を知る機会をつくる。

②農園利用者同士がふれあえる

- ・農園利用者による栽培報告会や意見交換会を開催することで、ふれあう機会をつくるとともに、栽培や活動のモチベーション向上につなげる。

③世代の違う利用者がふれあえる

- ・園内のハーブ収穫及び配布、活用方法の紹介などのイベントを企画して、来園のきっかけや交流の機会をつくる。

④日常の遊び場と農体験の場が身近に感じられる。

- ・園内の樹木に樹名板を作成して設置するイベントを開催して自然への関心を高める。

⑤生産と利用のつながりが感じられる

- ・協働農園で収穫した野菜を活用した料理イベントなどを企画し、生産と利用を感じる機会をつくる。

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和7年度 事業計画書

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

（1）管理運営体制

人員体制表

項目	備考
施設長 1名	責任者
副施設長 1名	副責任者
本部責任者 1名	本部責任者
運営スタッフ（正規）2名	運営管理、施設管理、維持管理
ボランティア 1~2名	農業技術指導、運営管理補助

（2）勤務体制

勤務体制表 本：本部 現：現場

職種	主な業務内容	月	火	水	木	金	土	日
施設長	予算管理、自主事業企画を含めた業務全般統括	現	本	本	本	本	現	
副施設長	施設長の補佐(不在時の指揮)、公園の定期巡視	現			本		現	本
本部責任者	各公園施設長の運営支援、人材育成・研修支援	本	本	本			本	本
職員①	副施設長の補佐、現場維持業務、本部事務業務	本	本	本	本	本		
職員②	副施設長の補佐、現場維持業務、本部事務業務	本	本	本	本	本		
ボランティア	農業技術指導、清掃	現						

（3）人員体制の考え方・職能等

施設長（施設長、副施設長経験者）、副施設長（公園維持管理委託業務等経験者）、本部責任者（公園維持管理委託業務等経験者）、公園職員と必要に応じてボランティアスタッフを配置します。施設長は公園すべての責任者として位置づけます。本部責任者は社内指定管理業務全般の責任者として各公園施設長にきめ細かな運営支援をします。公園に職員は常駐せず、本部勤務と現地勤務を組み合わせ業務を行います。本部にいる職員と現場にいる職員は携帯電話で連絡を受けられる体制を整え、緊急時には現場へ急行できるようにして対応します。3公園の管理はハマヤク農園を拠点として包括的に行います。

（4）職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

・職員の資格取得を支援する

職員が各自1年に1つ資格取得に挑戦する。

・基礎研修～到達目標「全職員が共通意識をもつ」

公園管理を行うにあたって、当団体の現地職員は公園の管理運営方針等の理解が求められます。管理にあたる全職員が共通の理解を持てるように、施設長が中心となって基礎研修を行います。第三者委託先にもこの研修を行い、管理運営方針等を理解した上で業務にあたってもらいます。

（事業計画書様式3）

1 利用者サービスの向上・利用促進策

利用者ニーズを把握し、業務に反映させます。

取り 組み	内容及びイメージ	時期	意図目標	成果効果
アンケート	横浜市が定める項目のほか、自由意見を一般利用者と分区園利用者とも広く集める。	通常時、イベント時	利用者ニーズを把握し、グラフ化して分析する	イベント内容や対象、曜日を決める参考にして公園運営に生かす。要望や苦情は横浜市にまとめて報告し、それぞれ迅速な対応を行う。
満足度調査	現地での回答紙回収とホームページの回答フォームでの調査を実施。満足度を0～100%の10%刻みで応える内容。0%=不満、50%=普通、100%=満足としている。	年2回 9月と2月	満足度80%以上が目標。分区園利用者と一般利用者の結果を比較検討する。	集計結果をホームページで公開することで 職員の意欲向上 に繋がる。一般利用と分区園利用者の結果が乖離している場合は、サービスが偏っている恐れがあるので、慎重に分析を重ね、イベントの企画運営等に生かす。

ホームページ上のフォームによる分区園利用者募集のように、ホームページ上のフォームをアンケートやイベント申込等でも積極的に活用して、利用促進を図ります。

2 広報・プロモーションの取組

広報活動においては、公園ホームページのほか、SNS等の様々なメディアを利用して広く情報発信をします。具体的にはFacebook、地域SNS「ピアッザ」（戸塚区版、泉・瀬谷地域版）の活用、メールマガジンの活用（分区園利用者向けサービス）を行います。
また、協働農園の活動やハーブ収穫などのイベント、近隣イベント時に公園認知度を上昇できるように広報物の配布や次回イベントの広報を行えるように工夫します。

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

2ページ様式2－3「運營業務の実施計画・取組」に記載の5つの実施方針に沿って取組を実施します。取組は、初年度より段階的に実施し、毎年違った取組を行うことで飽きさせないように工夫します。講師を招く際、ボランティア募集の際には、区民活動支援センターや人材バンクを積極的に活用し、地域と協力します。

4 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献

「市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成」でも記載のある通り、区民活動支援センターや人材バンクを積極的に活用し、地域活性化につなげます。
また、園内の業務の外部発注は市内中小企業へ発注するよう努めます。現在、トイレ清掃業務、電気設備点検・修理業務、園内清掃業務を発注しています。
そして、俣野公園や地区センターなどの近隣施設の利用や「俣野公園のつどい」のようなイベントへの参加、ネーミングライツパートナーであり隣接する施設の1つである横浜薬科大学との協働農園の共同使用などを通じて地域活性化に貢献します。

5 災害時の緊急対応

「ハマヤク農園ほか2公園災害対応マニュアル」を作成し、職員参集や連絡網について整備します。近隣の広域避難場所や地域防災拠点までの避難経路図を作成し、現地に掲示します。災害が発生、または発生が予想される場合は職員の連絡体制、参集体制を整え、速やかに対応が取れるようにします。災害が発生した場合は、被害の状況を把握し、関係機関への速やかな報告及び二次災害の防止のための初期対応、市民対応、情報収集等を行い、所管部局に報告します。災害発生後は見回りを実施し、危険箇所については速やかに立入禁止等の一時処置や必要な復旧作業を行います。

6 安全対策・防犯対策

定期巡視の際に危険が予想されると判断した箇所についてチェックし、園内ハザードマップを作成します。また、利用者自身があらかじめ時系列で整理した避難行動計画を作成する“マイタイムライン”の紹介をします。施設における事故防止及び事故発生時の対応に備えて、あらかじめ「事故防止・事故対応マニュアル」を定めます。われ窓理論を意識した初動対応を心掛け、不法行為には内容や程度に応じて適切に対応します。

7 苦情・要望への対応・不法行為対策について

苦情や要望が利用者から寄せられた際は、それを公園利用や管理を見直す絶好の機会と捉え、公平な立場で迅速かつ丁寧に対応します。機械的に返すのではなく、最後まで話を聞き、現場ですぐに応えられない内容の場合には本部や市を通して対応します。寄せられた苦情や要望は苦情対応シートに経過を記録して、データとして蓄積し、職員間の情報共有に役立てるとともに内容を分析することでサービス向上につなげます。利用者全体のサービス向上に寄与する場合には、ホームページや掲示板を通じていただいた意見と回答を公開します。

8 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

各重要施策に協力します。特筆すべき主な内容は次の通りです。

施策	協力内容
横浜みどりアップ計画	分区園や協働農園を活用して緑を実感できるイベントを開催します。また、アンケート用紙や掲示物、ノベルティ等包括的にキャラクターを活用します。
ガーデンシティ横浜の推進	ガーデンネックレス横浜のようなイベントに積極的に協力し、花と緑にあふれる横浜を次世代に引き継げる取り組みを推進します。マスコットキャラクターのガーデンベアを掲示物等に活用します。
GREEN × EXPO2027 ロゴマークの活用	GREEN × EXPO2027 の国内外へのPRとしてロゴマークを活用する。作業車両等に掲示したりチラシにロゴを掲載したりして活用する。

9 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

「横浜市個人情報の保護に関する条例」や「個人情報の保護に関する法律」、その他個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱います。個人情報取り扱いマニュアルを作成し、職員全員が適正な取り扱い及び漏えい防止と対応迅速な対応ができるようにします。なお、情報漏えいが発覚した際には、直ちに公園緑地事務所に報告し、対応を協議します。

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和7年度 事業計画書
（事業計画書様式4）

1 公園の維持管理の基本方針

公園利用者誰もが安心、安全かつ快適に公園施設を利用できるように維持管理業務を行います。横浜市の作成した「維持管理基本水準書」や「横浜市公園施設点検マニュアル」を参考にして維持管理の詳細及び水準を示したハマヤク農園ほか2公園の「植物管理年間計画表」「施設管理年間計画表」を作成し、運用します。施設の点検は横浜市公園施設点検マニュアルに基づいて適切に行い、破損やボルトの緩みが発見された場合には早急に利用制限をかけ、補修をします。

2 公園施設・設備の維持管理

巡視記録シートを用いて、記録を取りながら巡視を行います。シートは保管し、引き継ぎやヒヤリハットの蓄積による情報共有に活用します。定期点検は「横浜市公園施設点検マニュアル」に基づいて実施します。

3 公園施設・設備の修繕計画

前指定管理期間中の点検結果で経過観察としているものについては、引き続き横浜市と協議しつつ、状態によって修繕を行います。

ハマヤク農園は開園から比較的新しい公園ですが、和泉アカシア公園と泉が丘公園は開園から10年以上経っており、老朽化が進んでいるので、点検を綿密に行います。

4 樹木・植栽等の管理

【ハマヤク農園】

・高木

越境や分区園エリアの日当たりに配慮して管理します。

・低木や生垣

斜面部は斜面保護や防砂の役割に配慮して適切な管理を行います。ハーブ類は開花や収穫時期に配慮しつつ、道路や園路への張り出しに注意して管理します。隣接する住宅や利用者に配慮して騒音の少ない充電式の草刈機や刈込機を積極的に使用します。

・草地広場

現在は芝やクローバーの草地となっています。裸地が見られる場合は、草地として維持できるように横浜市と協議の上、適宜、地被類の補植を行います。

【泉が丘公園】

サツキなどの低木類は開花時期に配慮しつつ、道路や園路への張り出しに注意して管理します。

【和泉アカシア公園】

泉土木事務所が管理する区域との境界や倉庫棟周辺の低木類は開花時期に配慮しつつ、園路への張り出しに注意して管理します。

5 巡視・清掃

維持管理水準に沿って建物をはじめ、園内の清掃を行います。倉庫棟のロッカーに関しては、分区園利用者が自主的に清掃できるよう指導します。

週2回の定期巡視は、公園の様々な日時の姿を見るため、曜日や時間を定めずに行います。その時期に合わせた注意喚起を効果的に行うように努めます。

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和7年度 事業計画書

（事業計画書様式5）

無料事業実施計画一覧（自主事業含む）

事業名	内容（募集人数・一人当たりの参加費）	新規	実施時期	回数
野菜づくり情報の提供	分区園利用者向けに情報提供を充実させる。毎月のおたよりとして情報を紙で配布するほか、HP やメール配信サービスで提供する。		通年	1
農作物の生長アルバム作成	分区園利用者を対象にアルバム台紙を配布して農作物の生長アルバムの作成を支援する。（台紙は無料ダウンロードできる）		通年	1
分区園利用手引きの配布	利用方法をまとめた手引きを作成し、配布する。		通年	1
農機具貸し出しサービス	利用者が共同で利用できる農具を無料で貸し出す。		通年	1
図書貸し出しサービス	農作業や園芸に関する図書を設置し、無料で貸し出しを行う。		通年	1
園芸材譲渡会	年度の切り替え等で利用が終了する利用者から不用となる資材を預かり、次年度利用者等へ譲渡して資材を有効活用する。		3~4月頃	1
荷物運搬サービス	分区園利用者向けに、徒歩や自転車で運搬が困難な肥料や支柱などの大荷物を自宅から公園へ運搬するサービスを提供する。指定管理者の管理車両で運搬を行う。		通年	1
堆肥化サービス	3公園の野菜ごみを集めて堆肥化し、再配布するサイクルを作る。ハマヤク農園は園内に回収場所を設置し堆肥ピットで堆肥化を行い、適宜配布する。和泉アカシア公園には分区園区域内にコンポスト、野菜ごみ回収場所と配布場所を設置し、泉が丘公園には分区園区域内にコンポストと配布場所を設置する。		通年	1
メール配信サービスの活用	希望者に登録してもらい、イベント情報や気象情報を配信する。		通年	1
エコキャップ回収運動	ペットボトルのキャップを集めてリサイクルする。		通年	1
満足度調査	現地での回答紙回収とホームページの回答フォームでの調査を実施。満足度を 0～100%の 10%刻みで答える内容。0%=不満、50%=普通、100%=満足としている。		9月 2月	2
公園ホームページの開設、運用	公園の情報を広く発信するため、ホームページを開設し、運用する。		通年	1

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和7年度 事業計画書

意見ボックスの設置	意見をその場で書いて入れられる意見ボックスを設置する。		通年	1
AED の設置	急病人の発生や災害時等に備え、AED を設置する。職員は年 1 回の使用講習会に参加する。	○	通年	1
「提供表示式・救急キット FA」の設置	「提供表示式・救急キット FA」は CSR・社会貢献製品の救急キットである。キットを設置し、FA ステッカーを貼ることで「提供表示式・救急キット FA」の所在を伝えることが出来るので、迅速に救急キットを提供できる。		通年	1
機能付き自販機の設置	ユニバーサルデザインで、災害時には自販機内の飲料を提供できる災害救済自販機タイプを設置する。また、横浜みどりアップ葉っぱーのオリジナルラッピングデザインとする。		通年	1
Facebook、X(旧twitter)の活用	最新情報を発信するとともに知名度向上につながるキャンペーンを実施する。		通年	1
パンフレットの配布	パンフレットを作成し、適宜近隣の地区センターや区役所等に設置して配布する。		通年	1
近隣施設の利用やイベントへの参加	俣野公園の「俣野公園のつどい」に参加したり、地区センター等の近隣施設をイベントで積極的に活用したりして、公園名を知ってもらうきっかけとする。		10月	1～5
地域 SNS「ピアッツァ」の活用	ユーザー同士が地域の情報を発信・共有できる地域 SNS アプリ「ピアッツァ」の戸塚区と泉区（泉・瀬谷）エリアに公園のアカウントを作成し、イベント告知を行う。		通年	1
樹名板づくり	園内の樹木の樹名板を手作りで作成して設置する。イベントは毎年実施し、樹名板は1年程度で更新する。（30名）		10月	1
ハーブの摘み取り	園内のハーブの生育に合わせて摘み取りイベント行う。（ハーブ摘み取り 30名・1～2回）		6月	1～2
野菜の栽培収穫体験	協働農園で市民と共同で野菜の栽培から収穫を体験するイベントを開催する。栽培は植え付けから収穫まで定期的に作業を行い、毎回参加者を募集してイベントとする。（10～80名）		通年	1～6
緑のカーテン設置及び普及促進イベント	倉庫棟付近に緑のカーテンを設置する。また、緑のカーテン作成を支援するためアサガオの苗を無料配布する。（20名）	○	6月	1
季節を感じる装飾	10月のハロウィン、12月のクリスマス、1月の正月等季節に合わせた装飾を行う。		10月 12月 1月	3
栽培記録の活用	分区園の利用者には年 2 回の栽培記録を提出してもらう。連作障害防止のため、次期利用者へ情報提供として活用する。また、栽培人気ランキングを発表したり、自由意見に応える形で野菜づくりのアドバイス資料を作成したりする。	○	9月 2月	2
暑さ指数（WBGT）	暑さ対策、熱中症対策の指標として暑さ指数（WBGT）を活		6～10	1

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和7年度 事業計画書

の掲示	用し、活動の目安とともに園内に掲示する。計測した数値は月ごとにグラフにまとめ、ハマヤク農園としてのデータを収集して活用する。		月	
分区園の利用者募集時期の工夫	分区園の利用者募集を利用者の利便性向上のため、2月から変更し、11月中に実施する。		11月	1
分区園の利用者募集の申し込み方法の工夫	往復はがきでの申し込みに加え、ホームページのフォームから申し込みできるようにする。		11月	1
雨水タンクの利用	雨水を貯められるタンクを設置して活用する。倉庫棟やロッカー横に設置し、雨どいからタンクへ貯められるようにする。分区園利用者がそこから水やり等に使用できるようにする。		通年	1
横浜みどりアップ葉っぱの活用	農園付公園はみどりアップ計画に基づいて整備されているので、園内の掲示物やノベルティ等包括的にキャラクターを活用する。		通年	1
ガーデンベアの活用	横浜の花と緑をPRするキャラクターを里山ガーデンの大花壇から花苗を移植して展示する際の案内等に活用する。		通年	1
「横浜農場」ロゴマークの活用	横浜の農の魅力をPRする「横浜農場」のロゴマークを里山ガーデンの大花壇から花苗を移植して展示する際の案内等に活用する。		通年	1
GREEN × EXPO2027 ロゴマークの活用	GREEN×EXPO2027の国内外へのPRと機運醸成を進めるためにロゴマークを活用する。作業車両等に掲示したり、チラシにロゴを掲載したりして活用する。		通年	1
空き区画の有効利用	分区園の空き区画について、募集活動を行いながら、空き区画の間は協働農園と同様に管理運営を行う。和泉アカシア公園内の花壇は、利用者と協働で管理運営を行う。	○	通年	2

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和7年度 事業計画書

有料事業実施計画一覧（自主事業含む）

事業名	内容（募集人数・一人当たりの参加費）	新規	実施時期	回数	自主事業予算額 （単位：円）	
					総経費	収入
園芸材販売	堆肥（はまっ子ユーキ）を園内で販売する。 春の販売会と随時置き配にて販売する。（300袋・@400円・1回）＋（150袋・@400円）		春、 通年	1	122,850	180,000
土の耕耘サービス	耕作が切り替わる時期に、希望者へ有料で実施する。運転は職員が行う。 （10人・@2000円・2回）		9月 4月	2	58,000	40,000
土の耕耘サービス時の草取りサービス	耕耘サービスに付随して、上物の撤去を有料で実施する。（10名・@2,000円・2回）		9月 4月	2	0	40,000
ハーブの活用	活用法としてポプリづくりイベントやその紹介を行う。（10人・@200円・1回）		5～7月	1	1,500	2,000
野菜栽培個別相談会	実際の分区園を見ながら、講師に個別に野菜づくりの相談ができる。（10人・@500円・1回）		5月	1	5,000	5,000

（事業計画書様式6）

業務の第三者委託一覧

業務名	内容	再委託会社	年回数	実施月	契約方式
トイレ清掃業務	トイレ清掃業務 （ハマヤク農園）	㈱齊藤商会	260回 週5回実施 （52週×5回）	4月～ 3月	随意契約
電気設備点検・修理業務	照明設備、園内灯設備の電気設備点検及び修理業務	㈱横浜電業	点検：年1回 修理：随時	4月～ 3月	随意契約
清掃業務	清掃業務 （和泉アカシア公園）	NPO法人 ドリームの丘	32回/年	4月～ 3月	随意契約

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和 7 年度 事業計画書

（事業計画書様式 7）

収支予算書（指定管理事業のみ）

（単位：円）

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	6,649,000		6,649,000			
利用料金収入	1,915,200		1,915,200			ハマヤク農園 900 円/㎡, 泉が丘公園 900 円/㎡, 和泉アカシア公園 600 円/㎡で算出
自主事業収入	267,000		267,000			
雑入	0		0			
その他雑入	0		0			
収入合計 (a)	8,831,200		8,831,200			

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	5,144,000		5,144,000			
給与・賃金	4,244,000		4,244,000			賃金スライド対象
社会保険料	720,000		720,000			賃金スライド対象
通勤手当	120,000		120,000			
福利厚生費	60,000		60,000			
勤労者福祉共済掛金	0		0			
退職給付引当金繰入額	0		0			
事務費	757,600		757,600			
旅費	468,000		468,000			
消耗品費	10,000		10,000			
会議賄い費	0		0			
印刷製本費	0		0			
通信運搬費	39,200		39,200			郵便料金
使用料及び賃借料	0		0			
（横浜市への支払い分）	0		0			
（その他）	0		0			
備品購入費	58,860		58,860			
保険料	40,000		40,000			
振込手数料	14,740		14,740			
リース料	46,800		46,800			AED
手数料	30,000		30,000			HP ドメイン料
その他事務費	50,000		50,000			職員等研修費
自主事業費	375,000		375,000			
管理費	2,159,400		2,159,400			
光熱水費合計	253,000		253,000			
光熱水費（電気）	120,000		120,000			
光熱水費（ガス）	0		0			
光熱水費（水道）	85,200		85,200			
光熱水費（下水道）	48,000		48,000			
清掃費	1,378,080		1,378,080			トイレ清掃
修繕費	80,000		80,000			
機械警備費	0		0			
公園及び公園施設設備保全費	448,120		448,120			
施設（建物）・設備保守	75,000		75,000			電気設備点検
園地管理費	373,120		373,120			
その他保全費	0		0			
公租公課	335,200		335,200			
公租公課（事業所税）	0		0			
公租公課（消費税）	335,200		335,200			支出合計の消費税相当額
その他公租公課	0		0			
事務経費（本部分）	60,000		60,000			本部事務所人件費等
雑費	0		0			
支出合計 (b)	8,831,200		8,831,200			
差引 (a－b)	0		0			

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和 7 年度 事業計画書

（参考）指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計（c）	50,000		50,000			自動販売機の収入
設置管理許可支出合計（d）	50,000		50,000			自動販売機の使用料（横浜市への支払い）と電気料金の合計
差引（c－d）	0		0			

今年度の収支計画

- ・指定管理業務は基本的に直営で行うことにより、経費削減します。
- ・備品は初年度に購入したものを継続利用して経費削減します。
- ・収益を上げることは最優先ではありませんので、自主事業の参加費はできる限り抑えます。
- ・分区園の利用料金については、月割りできるように設定します。
- ・収益があった場合は次年度の自主事業費にまわします。

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和 7 年度 事業計画書

（事業計画書様式 8）

運営目標

項 目	取組み内容及び具体的な数値目標
業務運営 1 （様式 2：運営業務の 実施計画・取組）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 つのミッションに該当する自主事業や取組を各 1 項目以上実施する。 ・ 年 2 回実施する満足度調査において、満足度 80%以上を目指す。
業務運営 2 （様式 2：管理運営体 制、人員の配置と研修 計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が各自 1 年に 1 つ資格取得に挑戦する。 ・ 研修を年 5 回以上行う。
業務運営 3 （様式 3：利用者サー ビスの向上・利用促進 策）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業を月 1 回、1 項目以上実施する。
業務運営 4 （様式 3：広報・プロ モーションの取組）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページのブログ、Facebook、X（旧 twitter）を月 4 回以上の更新をする。 ・ 地域 SNS「ピアッザ」に登録し、月 1 回以上の更新をする。

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和7年度 事業計画書

<p>業務運営5 （様式3：市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集の際には、区民活動支援センターや人材バンクを活用する。
<p>業務運営6 （様式3：地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業への優先発注 100% ・地区センターなどの近隣施設の利用、年1回以上 ・「俣野公園のつどい」のような地域イベントへの参加、年1回以上
<p>業務運営7 （様式3：本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業への優先発注 100% ・発行するチラシやお知らせの関連するマスコットキャラクターやロゴの掲載率 100% ・維持管理等で使用する機械は充電式機械を積極的に導入し、CO2削減に努める。
<p>業務運営8 （様式4：公園の魅力高める施設保全・管理）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーブ類の収穫イベントを年1回以上実施する。 ・草地広場を快適な空間として維持するため、毎月記録を取り、必要な補植等を行う。

ハマヤク農園（深谷町ふれあい公園）、和泉アカシア公園（分区園のみ）、泉が丘公園（分区園のみ）
令和 7 年度 事業計画書

<p>業務運営 9</p> <p>（様式 4：施設（建物等）、設備の維持管理、修繕計画）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視時は必ず複数人で、巡視シートを用いた巡視を実施する。巡視シートへの点検者氏名記入により確認する。 ・巡視や点検の結果や苦情・要望をもとに、初動対応を心掛ける。巡視シートや苦情対応シートにその後の対応や対応者について記載・確認できるようにし、初動対応は 1 週間以内に行うこととする。 ・横浜市への速やかな報告と協議により、施設や設備が常に利用に支障のない状況に維持管理する。 ・施設の修繕がすぐに行えない場合には、代替品の導入等を臨機応変に横浜市へ提案し、対応できるようにする。 ・初動対応以降の対応は月報により定期的に報告する。
<p>業務運営 10</p> <p>（様式 4：樹木、植栽等の管理）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽管理に関する苦情 0 件。 ・騒音や環境へ配慮した、充電式機械の使用率を全体の 50%とする。 ・草地広場を快適な空間として維持するため、毎月記録を取り、必要な補植等を行う。
<p>業務運営 11</p> <p>（様式 4：巡視・清掃）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視時は必ず複数人で、巡視シートを用いた巡視を実施する。 ・園内の清掃に関する苦情 0 件。 ・夏時期のゴミの散乱、近隣に迷惑になる行為は巡視時に特に注視し、速やかに清掃する。
<p>収支</p> <p>（様式 7：収入確保、経費節減策）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分区園稼働率 100%とする。（空き区画を 0 とする。） ・備品は帳簿に記載して適切に管理する。備品を長く使い、帳簿管理によって重複する購入等を防ぐことで物品費を前年比 1 割削減する。 ・雨水タンクを設置し、植栽の灌水等の管理用水として使用することで水道料金を前年比 1 割削減する。